

皆様こんにちは。

ケアプランさわやか愛知で、微力ながら、本当に微力ですが、ケアマネをさせていただいてます。山口純子です。

さわやか愛知にきたのは、H28年11月で、まだまだ新人です。

偉大な先輩方に指導してもらい、ドラマティックな波に乗りながら、主に自転車で走り回っています。

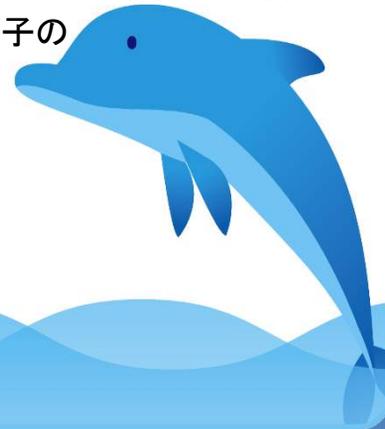


今回はさわやか愛知のイベントについて思うところを書かせていただきます。

さわやかカフェのキッズニア体験や子ども大学のイベントに声をかけてもらって

「じゃ、連れてくるか」と軽い気持ちで、うちの娘を連れてきて、イベントに放り込んでます。保育園とはまた違う雰囲気の中、小学生のお姉さん達と何となく上手くやっている、我が子の姿にびっくりポンです。

そんなこんで、まだまだ未熟者ですが、よろしくお願ひします。見かけたら、声かけてください。



ふれあい切符の話 第6回

「地域通貨」についてのよもやま話、今回は「豊かさ」とは何だろうという話。人生の満足・生きがって何でしょう。家族団欒、住民活動への参加、趣味・特技に没頭する時間、地域貢献などなど。それは人それぞれでしょうが、自分ができることを持ち寄って自分が所属するコミュニティに貢献するというのもその一つですよね。

そうすることで地域の活性化につながり、地域全体が活力アップのスキルを共有できるような社会に再編されていき、個人の充足に還ってくる循環ができると素敵だと思いませんか。

お金では買えないパワーをゲットできる地域通貨。あなたの豊かさに繋がる糸口はありませんか？





毎月第3月曜 18:30~20:30 さわやかハウス
に集まって なんだかんだか やってます。
開催日によって参加メンバーや内容は色々です！

たとえば・・・

- ・育自の魔法・爪切りの方法・認知症の方への対応・レクネタ交換会
- ・骨を考える介護 などなど、、興味のある方はホームページ見てね！

養成教育部から 講座聴講 のお知らせ

介護職員初任者研修 10月コース ♡ケアの合間に無料で聴講しませんか

編集後記

四月になってからの「三寒四温」、梅雨入り前の真夏日と、変動の大きな気候でしたね。でも、さわやかタウンの正面玄関には毎年恒例のお客様、燕ご一家が訪れてくれました。さわやか愛知の近所には、雀やシジュウカラ、ハクセキレイなど多くの隣人がいます。先日は大蛇も出現したんですよ！（N）

ゲストは 吉田 世津子 さん

私とさわやか愛知との出会いは一枚のピンク色のチラシから…
『くらしのお手伝いをしませんか?』困ったときは、お互い様…てな感じだったと思う。
なんか楽しそう!と思い、すぐに川上代表のお宅に向かいました。

代表にお会いしたら、もう虜でしたね。仕事、じゃなく人の役に立つちょっとしたお手伝い
というのは新しい感じでした。毎日「楽しい」って活動していました。

まだまだ介護保険もない頃で、仕事の依頼もさまざまでした。“旅行に出かけるので金魚の餌
やりをお願いしますとか…(笑)私自身も子供のスイミングの送迎をお願いしたり… 簿記の
資格を持っていたので、代表の自宅の事務所で会計の仕事もやりました。でも、やはり現場の
方が楽しいので会計は後継者に引き継いで、また現場に戻りました。

そして、自分がお手伝いした時間を貯めて、将来の自分のためにその時間を使うという時間
預託のシステムに感心し、これこそが困ったときはお互い様の精神なんだなと楽しみながら活
動していましたね。

介護保険が始まり、たくさんの方たちとの出会いと別れがありました。私を一番大きく変
えたのが利用者Kさんとの出会いです。

Kさんは事故で突然身体が不自由になり、生活が一変してしまっただけで、常に前向きで一生
懸命に生活してみえました。いつも、私たちヘルパーの仕事に感謝して下さり、他人のこ
とを自分のことのように心配して下さったりと…気がつけば私は20年もの長い間、Kさんと共
に過ごしていました。冠婚葬祭の時もいつも一緒だったので、いつしか家族の一員のような感
じになっていました。そんなKさんが二年前に突然亡くなられた時は、私は悲しくて悲しくて
もう仕事を辞めてしまおうとまで思いました。だけどKさんは私たちにもいつもありがとう
って感謝してくれました。私もKさんからはさまざまな事を学ばせてもらった。この仕事は、お互
いを幸せにできる最高の仕事なんだと、つくづく思い、今日も私はヘルパー業に励んでいる次
第でございます。利用者様にとっては貴重な時間を共に過ごすのだから満足してもらえ
る内容を提供したい、そのために私が心がけていることは、まずは利用者の話を聴くこと、自発
的に話してくれるまでひたすら聴いて寄添うことです。心を開いて笑顔を見せて下さった
とき、私も幸せな気分になります。

そして今、実父にヘルパーの支援が必要になり、さわやか愛知のヘルパーとして私が行っています。今
まで経験させていただいた多くのことを父のために活かすことができ本当にうれしく思
い「さわやか愛知にいて良かった」と心からの感謝でいっぱいです。

登録当初からさわやか愛知でさまざまな活動をこなし、「たすけあいの会」に深い理解を示して下さる吉田
さんの情の厚さと懐の深さが感じられました。サービス提供責任者の新人時代の私には「困ったときの吉田
さん」だったのですが、それは今も変わっていません。

次回は 正田 さんです



ヘルパーステーションさわやか愛知

第1回現任研修の様子を お知らせします。

介護の基本・コミュニケーション

「骨を考へて介護する講座」 ～チェック表で自己評価してみよう～

6月9日の日曜日、あいにくの空模様でしたが、表題の研修を、丸山冬芽さんを講師に午前の部・午後の部と2回開催しました。参加して下さった47人のケアワーカーさん、お疲れさまでした。わくわくフェスティバルも併せて開催され、フードトラックのランチやタウン内の様々なブースでのお楽しみも加わって、ワイワイ楽しい一日でした。

【参加者の感想】（抜粋）

- 自分の動きの中で骨を意識してケアしてみようと思いました。
- 声かけと同時に動くのはNG。
- 肩関節の動かし方、確認できました。•人(相手)と呼吸をあわせないと動きにくい。
- 聞くだけの講義ではなく、体を動かすことでわかりやすかったです。
- 時間が足りないぐらい集中できてよかった。



【研修担当者の感想】

敷地屋:身体を動かしての研修は楽しく学べた。今後も身体介護を体験して欲しい。

相羽:大勢参加いただけで良かった。実際身体を動かしたことで、研修参加の満足感があつた。講師とは別に、直接サ責から発信があつたことは、現実味と重要性感じられたのではないか。

菊池:いつもやっているケアの振り返り、見直しの参考に役立つ現任研修を計画していきます。

